

活動報告

団 体 名	チームF九州
活 動 名	三者連携促進のための福岡県情報共有会議他の会議支援
活動期間	2021/08/16～2021/10/31
活動の成果	今回の活動の成果としては、以下の3つがあげられる。 ①被災地のニーズと支援者とのマッチングの実現 情報共有会議をオンラインで開催することで、全国各地から被災地を支援したいという方々が参加できた。実際、8/16に開催した第1回目の情報共有会議には100名を超える方に参加して頂き、被災地の状況を共有して被災地のニーズと支援者とのマッチングが出来た。 ②きめ細やかな支援の継続 発災直後からのフェーズが変わり、情報共有会議の回数を経るにしたがって会議への参加者が減ってきた際には、福岡県域での情報共有から、災害が大きかった久留米地域の情報を中心に情報共有への切り替えるとともに、Zoomのブレイクアウトルームの機能を使って、久留米地域で活動している団体だけで課題共有を行うなど、団体間の連携と課題解決に向けた話し合いの工夫を行うことで、きめ細やかな支援を実現できた。 ③三者連携の深化と探索 支援活動が落ち着いてきた9月初旬になって情報があがってきたみやま市の農業被害に対しては、4年前の九州北部豪雨の際にJA筑前あさくらと朝倉市で立ち上げた農業ボランティアセンターの実績をもとに、みやま市とJAみなみ筑後とをつなぎ、社協では手が出せない生業支援にも繋ぐなど、情報共有会議であがってきた情報をもとに、三者連携から生まれる支援の可能性をさらに広げることが出来た。
寄付者へのメッセージ	令和3年8月豪雨では、福岡県および県内で被災した地域で、行政・社協・支援団体が上手く情報共有し、スムーズに連携することで被災者および被災地に効果的に支援を届けることができました。コロナ禍での被災地支援では、情報共有とともに情報発信も大事だと考えており、被災地に入って支援したくても出来ない方々にも必要な情報を届けて、さらに支援の輪を広げていきたいと思っておりますので、引き続き本会の活動への支援をお願いいたします。

(活動のようす)

令和3年8月豪雨福岡県情報共有会議（第7回）

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 ツール アドオン ヘルプ 最近編集 監

目的: 被災地・被災者に必要な支援を効果的に届けるため、行政・社協、支援団体がそれぞれが持つ情報を共有し、課題解決にむけて協力すること。

1. 主催者あいさつ
(藤澤◎災害支援ふくおか広域ネットワーク)
・天候が安定してきた。残害もあちついて*

2. 久留米市、久留米市社協より情報共有
(牛島◎久留米市協働推進課)

(藤原◎久留米市社会福祉協議会)

3. 各団体より情報共有(支援団体の活動状況/予定)
<久留米地域>
(松田◎くもめ災害支援ネット ハッシュタグ)

(望月◎Camp)

